

内部不正取引検知 ～不正会計リスクの可視化～

企業レベルの不正検知とプロセスレベルの内部統制モニタリングにより企業内ガバナンスを向上

近年、コーポレートガバナンスコードやESGをはじめとして、ガバナンスに対する社会の注目が高まっています。一方で、会計不正や品質不正などが報道され、企業価値が著しく損なわれるケースも散見されます。不正による損害額は年間収益の5%*におよび、信頼の低下も相まって、企業価値の回復まで長い時間がかかることも少なくありません。

このように対策の必要性が高まる一方で、M&Aやグローバル推進の影響で、組織構造が複雑化し、対応が難しくなっていることも事実です。アビームコンサルティングでは、データを活用した独自の課題解決のアプローチにより、不正リスクを可視化し、不正に強いガバナンスの実現を支援します。

*出典：職業上の不正と濫用に関する国民への報告書 2018年度版(ACFE)

現状の不正対応ルールの落とし穴とデータ活用による解決アプローチ

不正対応のためのルールは構築できているものの、さまざまな理由から、不正が抑止できないケースや起こっていても見逃してしまうケースが散見されます。データ活用による解決アプローチは、現状のルールでは対応しにくい課題へ対処し、事業や拠点といった企業全体レベルでの不正リスクの発見や、プロセスレベルの不正リスクの発見など課題の粒度に応じた対応を可能にします。

不正が抑止できない3つの理由



統制の不足



リソース不足



統制の限界

	企業全体レベル	プロセスレベル
現状の不正対応ルールの落とし穴	リソースなどの制約から、統制の整備を劣後させたノンコアな事業や拠点が不正に利用される 	形骸化した既存の統制を突いて不正を行う
	経営者や役職者などのレビューリソースがない、必要なスキルセットを持った人材が不足しているなどの理由から不正に気付けない 	経営者や役職者などのレビューリソースがない、必要なスキルセットを持った人材が不足しているなどの理由から不正に気付けない
	有効な統制があっても、経営者や役職者など重要な権限を持つ者が、統制を無効化して不正を行う 	有効な統制があっても、経営者や役職者など重要な権限を持つ者が、統制を無効化して不正を行う

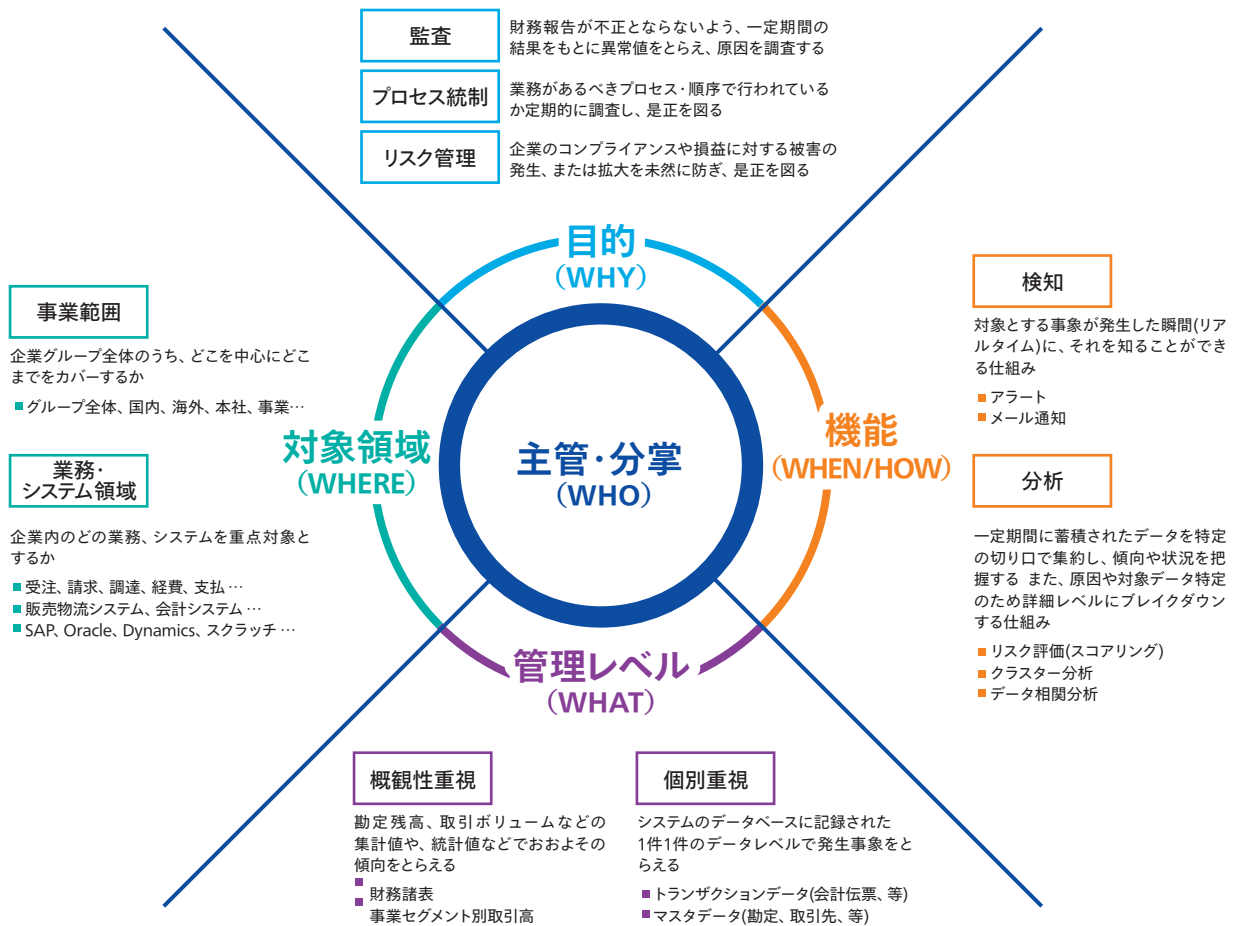
データ活用で実現する不正対応の姿	<input checked="" type="checkbox"/> これまで対象とできなかったノンコアな事業や拠点まで網羅的にパターンを発見 <input checked="" type="checkbox"/> 不正リスクが高いことをデータに基づき客観的に説明 <input checked="" type="checkbox"/> 職務分掌に基づく正しい権限を可視化	<input checked="" type="checkbox"/> 統制の実効性を補完 <input checked="" type="checkbox"/> 怪しい兆候の把握に費やしていたリソースを原因特定と対応へ有効活用
------------------	---	---

解決のアプローチ	<input checked="" type="checkbox"/> 定量・定性情報からデータアナリティクスにより不正パターンを特定し、会社・セグメント・店舗単位など、企業全体レベルの不正リスクを可視化	<input checked="" type="checkbox"/> システム上のトランザクションデータや変更履歴を用いたプロセス実態の可視化 <input checked="" type="checkbox"/> 常時モニタリング等による異常な業務フローや異常値の自動検知
----------	--	---

アビームコンサルティングが考える不正検知の定義

不正を検知する取り組みは、全社的な内部統制の状況が把握できるように5W1Hを考慮しながら評価業務が効果的かつ効率的に行えるように検討を進めていくことが重要です。

5W1Hは、目的／機能／対象領域／管理レベル／主管・分掌の5つの観点から定義し、アプローチを検討するべきと考えます。



不正検知ソリューション

当社の数々のデータ活用含むコンサルティング実績とソリューションを組み合わせ、企業レベルの不正検知からプロセスレベルの モニタリング・標準外プロセスの調査、内部統制チェックなどの様々な課題に対応するソリューションをご提供します。

それにより、企業全体レベルの不正リスクとプロセスレベルの不正リスクを明らかにし、不正に強いガバナンスの実現を支援します。

	目的	機能	対象領域	管理レベル	(概要)	(使用サービス・ツール)
グループ会社 不正リスク ヒートマップ分析	リスク管理	分析	事業範囲	概観性重視	従来の統計手法では難しかった多次元の変数からのルール導出が可能で、財務・非財務の多様なデータから課題の根本原因を発見	HyperCube
不正リスク検知 PDCAサイクル化	リスク管理	検知 + 分析	業務・システム領域	個別重視 + 概観性	SaaS型で不正徴候の自動的なモニタリングと関係者への通知だけでなく、不正徴候の関係性によりリスク高低を評価 発生した不正徴候の状況把握・分析レポートの強化により、俯瞰的なリスク分析を実現	Smart Fraud Detection (Skywind4C+SAP SAC) SAP SKYWIND Software Group
	リスク管理	分析	業務・システム領域	概観性重視	一定期間のデータを集計し、不正徴候の関係性によりリスク高低を評価 [SAP S/4HANAとの接続は可能ですが、ライセンスは別体系となります]	SAP BIS
標準外プロセス 調査・改善・監視	プロセス統制	検知 + 分析	業務・システム領域	概観性重視	システムの変更履歴から利用順序を把握することでプロセスを可視化し、プロセスのブレや、想定外のデータ量の変動を特定、不正請求や架空売り上げの兆候を特定	celonis
内部統制チェック ・分析 省力化	監査	分析	業務・システム領域	概観性重視	監査専門のデータ分析ツールで、監査手法をベースにしたデータ分析の実現による監査品質の向上が可能	各種CAATツールのアウトプットを用いた分析支援